

魅せる花
緑のカーテン

ポイントが
わかる!

つくりかたBOOK



企画

UMUKA

監修

広島市植物公園

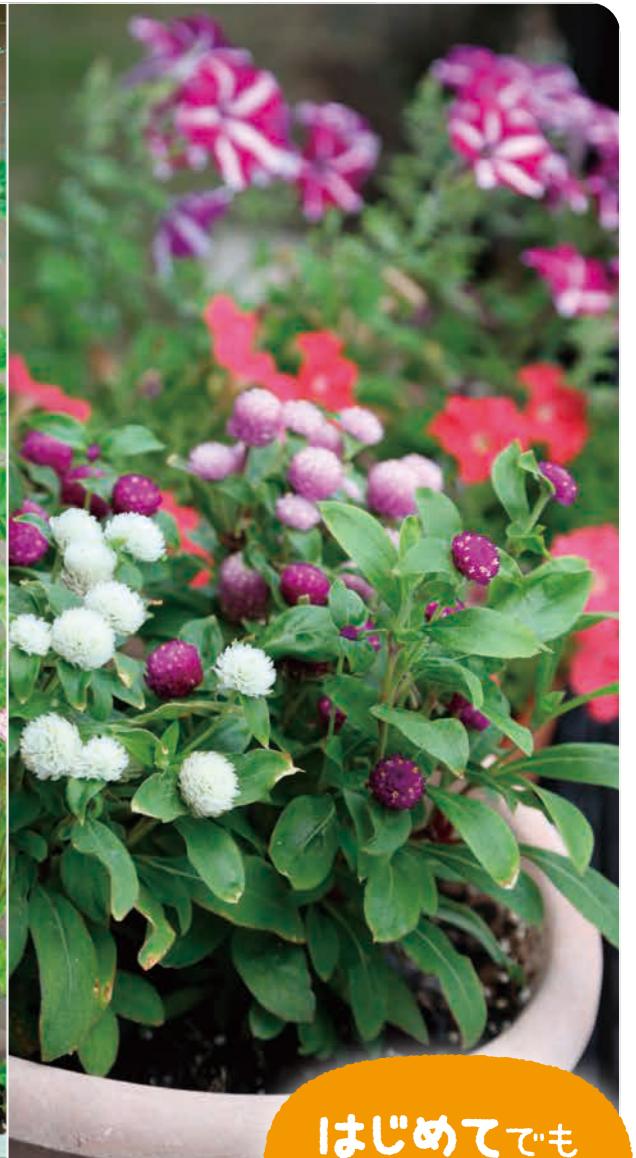
発行

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

〒730-0011 広島県広島市中区基町4番41号



花と緑の
おもてなし



はじめてでも
カンタン!



魅せる花をつくってみよう！

花のある暮らしは、人もまちも元気にしてくれます。
あなたのまわりにも、たくさんの花を咲かせましょう。

花があふれるまちづくりを
応援しています。
初心者の方でも手軽に取り組める
コンテナガーデンや
寄せ植えを中心に、
花づくりの基本やポイントを
ご紹介。

つくる人も、見る人も楽しめる
花づくりにチャレンジして
みましょう。



広島市みどり生きもの協会の活動

花があふれるまちづくりを目指し、道路に面した庭やテラスなど多くの人が観賞できる場所に設えた花壇や花づくりに対して、苗や鉢、肥料などの費用を補助しています。



Q. 美しく魅せる方法は？

A.

コンテナ寄せ植えのコツ、お教えします！

小さなスペースでも、工夫次第おしゃれに花や緑を楽しむことができます。ポイントがわかれれば、きれいな花をもっと素敵に魅せられるでしょう。

●環境に合った植物を選ぶ

日当たり（ひなた・日陰）・温度（暖かい・涼しい）・湿度（多湿・乾燥）など、似た環境を好む植物を組み合わせましょう。特に、日当たりと水やりのタイプは重要。合わない花が弱ってきます。



●開花時期を揃えるのがポイント

開花時期がバラバラだと花が一緒に咲きません。ビギナーの方は、花をつける期間が長いものを選ぶのがおすすめ。



●花色や鉢の雰囲気を考えて

花や鉢の色や雰囲気が、地面や壁の色、素材などとマッチするものを選びましょう。

ワンポイント
ビギナーは単品鉢がおすすめ
1つの鉢に同じ花（色違いもOK）を植えると育てるのが簡単。鉢ごとに移動させればレイアウトも自由で、枯れた場合も鉢ごと移動できる。

ワンポイント
地植えにもひと工夫を
花を植えた周りをレンガなどで囲むとおしゃれに。土や水が流れ出にくくなり、花壇エリアが明確になるので管理もやりやすい。



すぐに見習える寄せ植えのアイデア



同じ花だけをこんもりハンギングに。全方位に向かって咲く花がキュート。



色味が異なるグリーン系の配色で、高さの違いを生かした寄せ植え。



同じ花でも色違いなら、適度なリズムとコントラストをつくれる。

Q. 家にあった鉢と庭の土を使っても大丈夫?

A1 鉢は、素材や形の特徴で使い分けて。

素材も形も、さまざまな鉢があります。いろいろな角度から見えるなら丸型が、壁に沿って置くなら箱型がレイアウトしやすいでしょう。サイズは、ポットの植物を並べてみて、ひとり大きいくらいが適切。大きすぎると土や肥料がたくさん必要です。吊り下げるタイプは、土の重さが加わることを忘れないで。



素焼き(テラコッタ)

多孔質で通気性・吸水性が抜群。重いので、玄関や庭先の風が強い場所にはぴったり。



色や形の種類が豊富に楽しめる。釉薬や塗装のために通気性が悪いことも。

陶器

軽くて扱いやすい。水もちがよいので、こまめな水やりが苦手な人にはおすすめ。ただし根腐れに注意。

プラスチック



木製

通気性・吸水性がよく、やさしい雰囲気。劣化・腐食しやすいので、鉢カバーとして使うのがおすすめ。



軽くてハンギングに最適。ヤシガラは通気性がよいが、乾きやすいのでこまめな水やりが必要。

ワイヤーバスケット



A2 鉢植えは、地植え以上に良質な土が必要!

赤玉土



基本になる土。弱酸性で、通気性・排水性・保水性に優れた用土として最もポピュラー。サイズは大中小がある。

腐葉土



基本用土に混ぜて使用。通気性・排水性・保水性・保肥性を高め、微生物を活性化して土質を改良。

バーミキュライト



蛭石(ひるいし)を高熱加工したもの。非常に軽いので、基本用土に多めに混ぜると鉢の扱いが楽に。

培養土(ブレンド土)

殺菌済みで、用途別にブレンドされた土。初心者には、まずこれをおすすめ。植える植物や使い方に合ったものを選んで。



Q. ポット苗はどうやって植えつけるの?

A. 簡単な寄せ植えの方法をご紹介します!

どんな植物も植えつけの基本は同じです。ここでは、ウインターコスマス、シロタエギク、パンジーで寄せ植えをしてみましょう。



底網を敷く

鉢底にネットを敷く。土を入れるとずれやすいので、ネットは大きめが安心。



2 鉢底石を入れる

水はけのために、ばら土や軽石などを入れる。鉢底を覆うくらいが目安だが、多くてもよい。



3 用土を入れる

ポット苗の高さ分を残して、培養土を入れる。大きな鉢の場合は、鉢底石を多めにすると鉢が軽くなる。



4 苗をポットから出す

無造作に引き抜くと茎が切れることがあるので注意。ポットをもんでもおくと取れやすい。



5 根をほぐす

根が詰まって回っているときは、はさみで根を切る。切ったところから新しい根が伸びる。



6 苗を植える

正面から見ながら、背の高い株を後方に、低い株を手前に植える。



7 土を入れる

植物に土をかけないように注意しながら鉢に土を入れる。このときに苗の向きを整える。

完成!

飾る場所に移動させてから、水やりを。中にしっかり染み込むように、やさしくたっぷりと。

ワンポイント

本番前にポット苗を並べてみる

苗をポットから出す前に、土の上に実際に置いてレイアウトを確認しておくとバランスをとりやすい。



Q. 日頃の手入れはどうすればいいの？

A.1 水やりの方法に気をつけて！

表面の土が乾いたら、土に染みこませるように水やりをします。鉢の底から流れるくらいたっぷり与えてください。



水やりは、葉をよけて根元に与えるのが原則です。土がえぐれない程度の水圧で、鉢の下から水が流れ出るまで、たっぷり与えましょう。



上から水をかけると、花が傷んでしまうと同時に、水が葉の上を流れて根元に届かないで注意。ただし、汚れを流すためや、夏場の葉水として施すこともあります。



「常に少しづつ」の水やりはダメ！

表面が湿っているのに水やりすると根腐れすることが。プラスチックの鉢などは水はけが悪いので注意が必要。

A.2 摘心や花がらの摘み取りをしましょう。

日ごろからよく観察して、ひと手間かけると美しさが違ってきます。

●摘心で花が増える

摘心とは、新芽の部分を摘み取ること。摘心すると、手前の節から新しい芽が二手に分かれて伸びます。摘心を繰り返すことで、わきに伸びる茎の数が増え、花も増えます。



節のすぐ上(葉が2枚に分かれたすぐ上)で切る。

●花がらを除いて美しく

花が終わったものは、早めに花茎から摘み取りましょう。見た目の美しさだけでなく、病気を防ぐ意味もあります。枯れた葉も、同じ理由で早めに取り除きましょう。



花びらやガクだけでなく、茎の部分から取り除く。

Q. 何となく元気がありません…

A.1 肥料が足りないのかも。

鉢やコンテナの植物は栄養不足になりがち。必ず肥料を与えましょう。植えつけのときにはあらかじめ元肥を用土に混ぜておきます(肥料入りの培養土は不要)。植物が生長する時期や開花期は特に栄養が必要なので、追肥は必須です。



固形油かす(有機肥料)

効き目が非常に緩やか。多年草の場合、冬場に置き肥として使うなどする。



緩効性化成肥料

ゆっくり効き始めて、効果が長い。植えつけ時に元肥として用土に混ぜるのが基本。



即効性化成肥料

土の表面に置く追肥。ハンギングなどは肥料が流れやすいので、液肥よりも使いやすい。与え過ぎには注意。



液肥(即効性)

追肥に使う。効果が出るのが早いが、希釈濃度は必ず守ること。週に1度が目安。水やりの方法で根元にたっぷりと与える。



液肥なら簡単に栄養補給！

「葉の色が薄い」「花が小さい」などは、肥料切れの可能性が大。気づいたら即、液体タイプの肥料を与えるのが簡単。



パッケージ記載のN・P・Kとは

肥料の働きを知っておくと便利。
N(窒素)=葉や茎を育てる
P(リン酸)=花や実の栄養
K(カリウム)=根の発育

A.2 病気や害虫にも注意しましょう！

ひどいときは薬剤を使いますが、早期に対応すれば薬を使わなくてすみます。

病気の対処

病気の芽や葉を広めに摘み、風通しをよくする。



うどんこ病 芽や花が白い粉をまぶしたようになる。



灰色かび病 花や葉に病斑ができ、褐色になって腐る。



黒星病 葉に黒い斑点ができ、黄色くなつて枯れる。

害虫の対処

見つけたら、とにかくすぐに虫を取り除く。



アブラムシ 若芽や葉裏に群生し、汁液を吸う。



ヨトウムシ 夜に土から這いで葉を食べる。



ナメクジ 夜間に花や芽、若い葉を食べる。

Q. ビギナーでも育てやすい花を教えてください！

初夏～秋の花

キンギョソウ



豊富な花色に加え、寄せ植え向きの背の低い品種や切り花に合う背高の品種など多彩さが魅力。新芽やつぼみをヨトウムシが夜に食べ荒らすので捕獲して。こまめな花がら取りで長く花を楽しめる。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

ナデシコ



丈夫で育てやすく、秋の七草としても親しまれる。風通しのよい場所を好み、高温多湿に弱いので、梅雨時期は特に花がらの摘み取りが大切。水やりは、土が完全に乾いてから。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

サルビア



花が終わった穂から順に、こまめに花がらを摘み取っていくと、新しい穂が順々に伸びるので花が途切れない。水切れに弱いので、土の乾きには気をつけること。開花中は液肥を与えて。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

ジニア



別名「百日草」。日当たりがよく、水はけのよい土を好む。土が過湿になると病気になりやすいので、梅雨の時期は軒下などに移動させて。植えつけ後にすぐ摘心するのがコツ。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

マリーゴールド



開花期が長く、夏のガーデニングに重宝する。窒素肥料が多すぎると葉ばかり繁るので、注意が必要。肥料をたくさん必要とする植物と一緒に植えないほうがよい。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

コスモス



タネをたくさんつけると弱るので、花がら取りはこまめに。早めに摘めば、また花をつける。肥料を与えすぎると花つきが悪くなるので注意して。鉢植えには草丈の低い品種を。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

丈夫で世話がしやすい花や、チャレンジでも育てやすく楽

開花期間が長い花など、初めてのしみやすい花を紹介します。

晩秋～春の花

ガーデンシクラメン



通常のシクラメンは鉢花をそのまま育てることが多いが、ガーデンシクラメンは寒さに強いタイプで、冬の花壇や寄せ植えにも使える。枯れた葉や花がらは付け根から取り除く。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

ノースポール



寒さに強く、花期が長い。春先にアブラムシがつきやすいので、水やりのときに観察して早めの対策を。日当たりが悪いと茎が長く伸びてしまうが、短く切り詰めるとわき芽が生える。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

パンジー／ビオラ



色彩豊かな春の代表的な花だが、最近は9月ごろから花つきの苗が出始め、秋から花を楽しめる。本格的に寒くなる前に植えつけをしておくと株がしっかり育ち、春に花がよく咲く。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

ネモフィラ



根がまっすぐ伸びるので、苗が小さいうちに根を傷つけないように鉢に植える。鉢の背が低いと地面に当たるほど伸びる。霜に弱いので、日当たりのよい軒下などに置くのがベスト。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

ポピー



乾燥ぎみの環境を好むので、日当たりと風通しのよい場所へ置く。元肥を十分に与えれば、追肥は不要。花びらが落ちたら花がらを摘むが、タネを取る場合はそのまま残して。

植えつけカレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

開花カレンダー [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

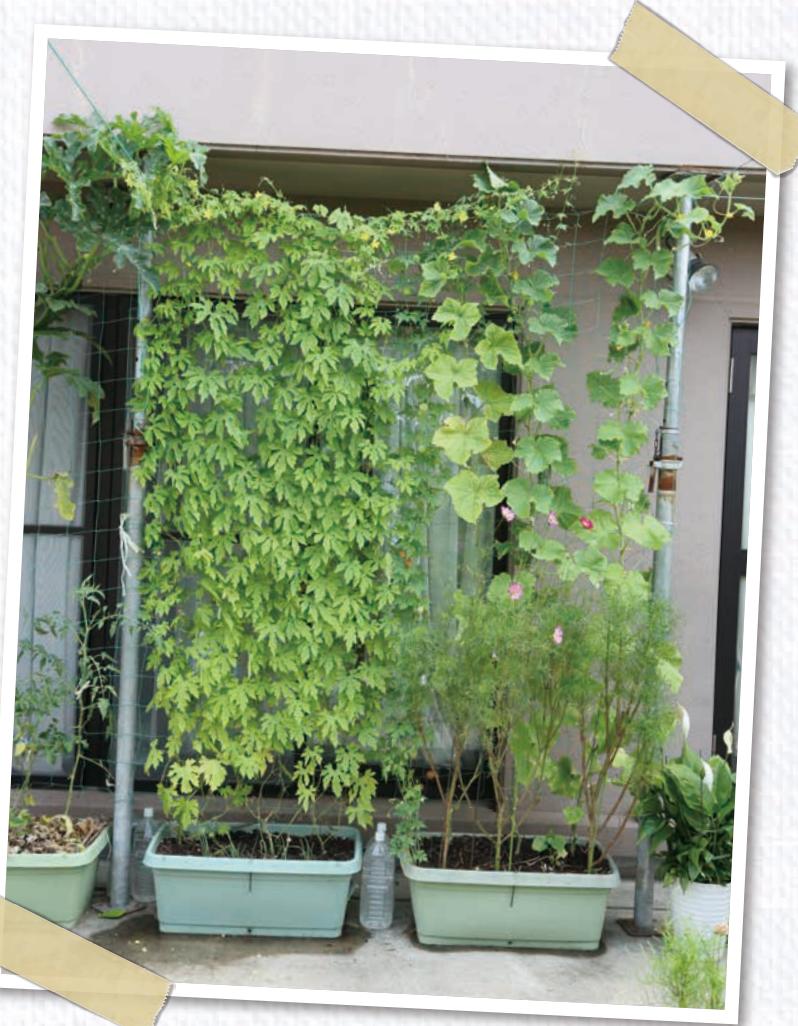
緑のカーテンを育ててみよう！

夏の省エネの強い味方、緑のカーテン。
爽やかなグリーンは見た目にも涼やかです。

夏の風物詩、緑のカーテンは
天然の涼をもたらして
くれるだけでなく
花が咲き、実がなるものも多く
たくさんの楽しみがあります。

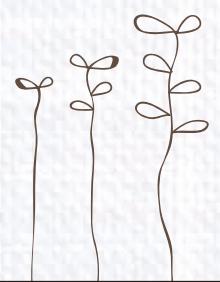
このコーナーでは
初心者の方でも
チャレンジしやすいよう
育て方の基本とコツをご紹介。

この夏はぜひ、
緑のカーテンを育てる過程から
楽しんでください。



広島市みどり生きもの協会の活動

地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和を目的に、家庭や事業所などにおける緑のカーテン設置を推進。緑のカーテンをつくるための費用を補助しています。



Q. 何から準備すればいいの？

A.

苗、土、プランター、ネットを用意しましょう。

緑のカーテンを育てるために必要なものは、スーパー・マーケットなどにも置いてあることもあり、比較的身近に手に入ります。



苗

大型プランター1個にアサガオなら1株、ゴーヤなら2株を目安に。



土

肥料を混ぜたよい土が必要。あらかじめ肥料が入った培養土を使うと簡単。



プランター

40ℓ以上の大きめの深いタイプを選ぶ。自安は、幅60×奥25×深30cm以上。



ネット

目が10×10cmくらいが扱いやすい。支柱やネットを留めるフックなども適宜必要。



初心者は、タネより苗が簡単
タネから育てるには早い時期からの準備が必要な上、難易度も高め。最初は苗から始めるのがおすすめ。

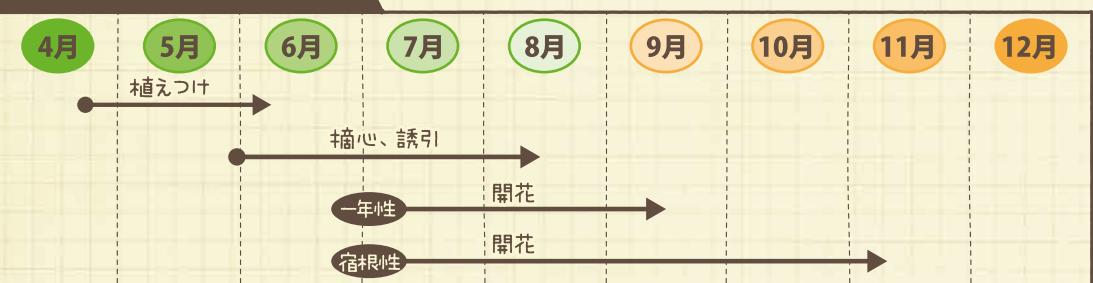


ネットは素材にも注目
シーズンが終わったときに、麻など天然素材のネットなら、分別せずツルごと可燃ごみで処分できる。



ヒント 焦りは禁物！ 年間スケジュールで計画的に

アサガオの栽培カレンダー



ゴーヤの栽培カレンダー



Q. 植え方がわかりません！

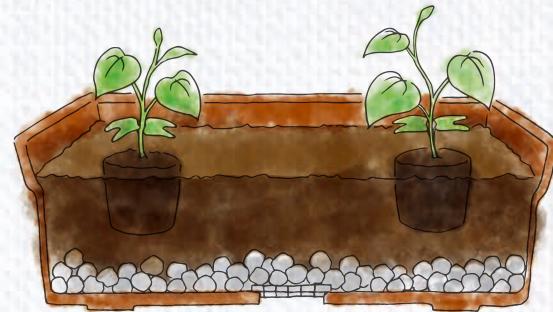
A1 間をあけて植えましょう。

緑のカーテンは大きく伸びて、根も広く張るため、株と株の間は広くあけます。1つのプランターに苗は2本まで。ゴーヤやアサガオの場合は、苗と苗の間は少なくとも20cmは離してください。ヘチマの場合は、プランターに1株です。

1 プランターの底に、鉢底石を敷きつめる。

2 培養土または、基本用土に腐葉土や元肥を混ぜた土を、プランターのふちから3cmくらい下まで入れる。

3 苗を植える場所(1~2ヶ所)に、ポットより少し大きい穴を掘って苗を入れ、土を寄せてギュッと押さえる。根が沈みすぎないように注意。



アサガオの地植え

一般的アサガオは問題ないが、宿根性のオーシャンブルーは広範囲に繁殖するので、地植えは避けたほうがよい。



タネの場合

ゴーヤやアサガオは、タネが硬く発芽しにくいので、表面を爪ヤスリなどで少し傷つけてからまく。

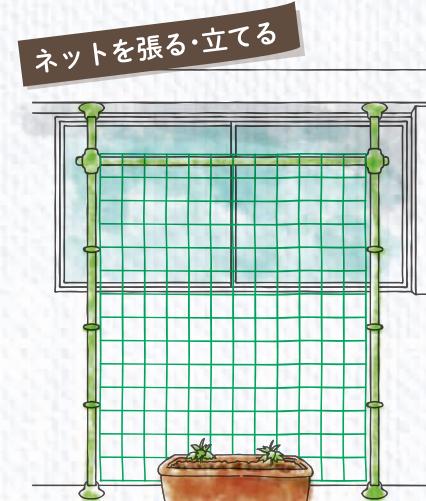
A2 水不足にならないように気をつけて。

太陽に晒される上、大きく伸びる緑のカーテンは、なにかと水不足になりがち。朝夕にたっぷり水を与えましょう。水切れを起こすと葉が早く落ちて、緑のカーテンがうまくできません。プランターは特に注意してください。

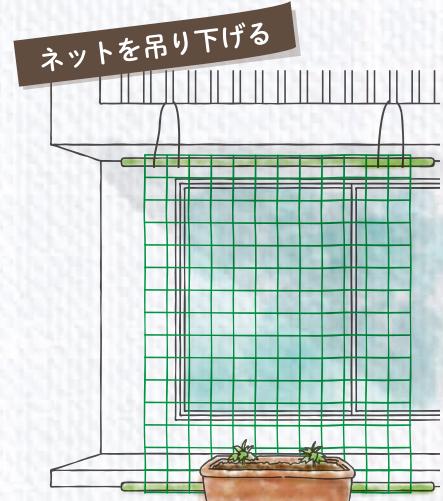
Q. ネットを張るのってむずかしい…。

A. 軒先や突っ張り棒を利用しましょう。

ネットは、ベランダの手すりや物干しのフックなどを利用して張ることができます。たるみが出ないように張るには、棒を使うと便利です。風などで倒れないようにしっかりと固定しましょう。



つっぱり棒を使って、床(地面)と軒下で支える。ひっかけるところがなくとも簡単に設置できる。



ベランダのフェンスや手すりに結びつけたり、フックで固定して下に下げる。ネットの下は重石などで留めること。



ヒント ネット設置のバリエーション

ネットの張り方に決まりはないので、環境や状況に合わせてひと工夫。安全のために固定はお忘れなく。



支柱をプランターから窓枠の上部へ立てかけたスタイル。横棒を渡してネットの張りを安定させる。



ブロック塀に沿って縦に伸ばしてから、斜めに張った。日陰のスペースが広く、カーテン効果がアップ。

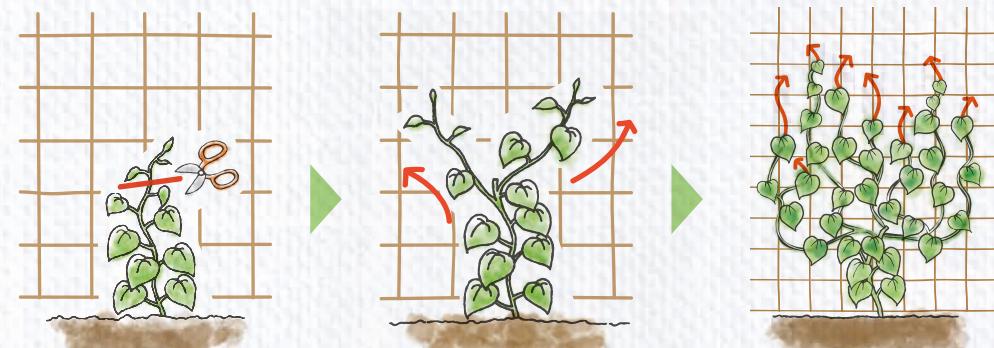


アサガオは軽いので、自作もOK。横にビニールひもを何本か渡して、縦ひもを絡めている。

Q. きれいなカーテンをつくるには？

A1 摘心すると、どんどん広がります。

摘心をすると、そこからわき芽が出て広がります。摘心を繰り返して、上下左右に広いカーテンに仕上げていきましょう。



伸びているツルの先端を
2~3cmくらい摘み取る。

摘心した下の節から、わき芽
が分かれて伸びていき、
子ツルになる。

わき芽から伸びた子ツル
も、ある程度伸びたら先端
を摘んで孫ツルを伸ばして
いく。ネットの隙間を埋める
ようにツルを広げて。

A2 ネットに誘引しましょう。



ところどころをひもで留める。ツルが動けるよう
に、大きめの結び目でゆったりと。

ツルの逃げ出しに注意！

宿根性アサガオは根やツルが
ぐんぐん伸びて、よその土地に
根づくことも。逃げ出したツルを
見たら切り取って始末して。

Q. 花や実は、ちゃんとできますか？

A. 肥料を与えましょう。

少ない土で育てるプランター栽培は栄養不足になりがちなので、肥料を与えないとうまく育ちません。特に花や実をつけるにはたくさんの栄養が必要です。



肥料が混ざてある培養土を使う場合は
不要ですが、自分でブレンドする場合は
あらかじめ元肥を加えて混ぜ込んで
おきます。市販の緩効性化成肥料などを
使いましょう。



ツルが伸び、葉が増え始めると、たくさんの
栄養が必要になるので、追肥をしましょう。
粒状の肥料の場合は、株元にまきます。
即効性の液体肥料の場合は、週1回程度、
水やりの代わりに施すといいでしょう。
希釈濃度は必ず守って。



連作障害に注意

翌年も緑のカーテンをつくる場合は、
プランターの土は入れ替えて。同じ
土を使うと、うまく生長しない。



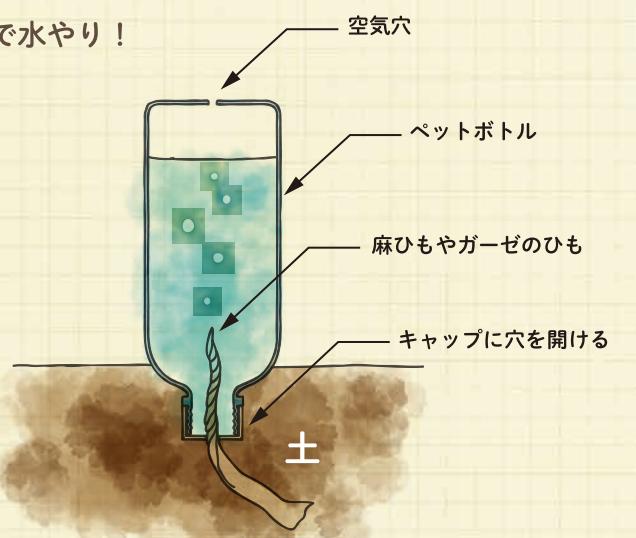
宿根性アサガオは焦らないで

オーシャンブルーは、植えた年には
ほとんど花が咲かない。2年目からは
花をつけるので、ご安心を。



ヒント 留守にするときは、自動で水やり！

緑のカーテンは1日でも水が切れると
大きなダメージが。ペットボトルを使った
簡単な給水装置が家庭でも作れるので
お試しを。



Q. シーズンが終わったらどうすればいいですか？

A. カーテンの片づけ

緑のカーテンをそのまま放置しておくと、冬場の日射の妨げになったり、枯れ葉が舞って周囲に迷惑をかけたりします。シーズンが終わったら早めに撤去しましょう。

●アサガオの場合

ツルの巻きつきが強いので、元気なツルをネットからほどくのは大変。低い位置で茎を切ってしばらく放置して、巻きついたツルや葉がしおれて軽くなったら作業しましょう。ツルを30cmずつくらいで切って、ネットから外していく。麻などのネットなら、分別不要で、ツルごと可燃ごみに。



宿根性アサガオの冬越し

オーシャンブルーは宿根して翌年も育つので株を残しておこう。茎を20cmくらい残し、株が凍らないようプランターごと軒下などに移動させるとよい。



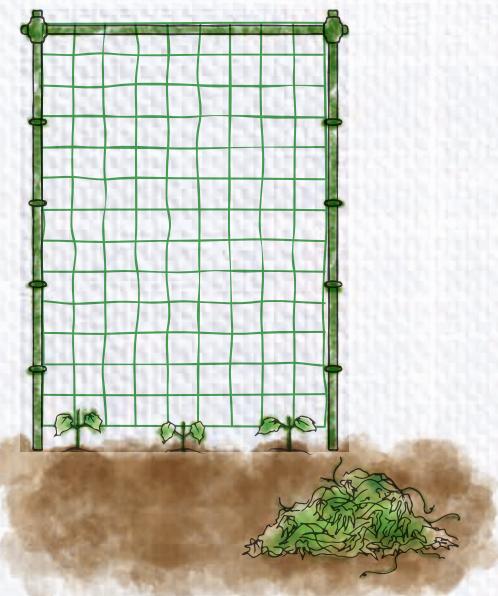
●ゴーヤの場合

根元近くでツルを切ったら、半日程度放置します。ツルや葉がぐつたりしたところでひっぱれば、巻きひげが切れて、ネットから外すのは簡単。枯れてから作業すると枯れ葉が飛び散るので、長く放っておかないように。ネットは保管して再利用します。



ゴーヤのタネを取る

タネを取る場合は、実がオレンジ色になるまで完熟させて。タネの周りのゼリー状のものを洗い落とし、陰干しをして保存する。



Q. 緑のカーテンに適した植物は？



オーシャンブルー（宿根アサガオ）ぐんぐん育ち大きなカーテンができる。宿根し、冬に地上部は枯れるが土中に茎と根が残り、翌年もツルが伸びて花が咲く。タネは取れない。



フウセンカズラ

白色の小さな花や紙風船のような袋状の果実がふわふわして、見た目にも涼しい。タネからでも育てるのが簡単。



キュウリ

大きくしっかりした葉が繁って、実の収穫も楽しめる。タネからよりも、病気に強い「接ぎ木苗」を育てるのがおすすめ。



アサリナ（バークレイアナ）

ツルが細く鉢植えでも扱いやすい。生育が旺盛で病気になりにくい。地上部を切り、根株を室内に入れれば越冬可能。

こんなにきれいにできました!!!

みんなの作品を紹介

魅せる花づくり



木製コンテナに、黄色い花とやわらかいグリーンの色合い。ナチュラルなイメージに。



ハンギングと角型コンテナに、赤系の花でコーディネート。彩やかな色味が映える。



玄関前に、紫系の小ぶりな花をたっぷり咲かせた。白いブリキの鉢カバーがおしゃれ。

同じサイズの単品鉢をたくさん並べて華やかに。まるで花畠のよう。



地面に落ちる影や、透ける陽光も涼しげ。爽やかな緑にアサガオの花がかわいいらしい。



ピンク色の小さな花をたくさんつけるアサリナ。初めての挑戦でも大きく育った。



斜めに張ったネットに下がるゴーヤの実。育つ様子を見るのも、食べるもの楽しみ。



縁側への強い日差しをカットするゴーヤのかーテン。大きな日陰と、間を抜ける風が涼を呼ぶ。